

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

宇和島市長 岡原 文彰

市町村名 (市町村コード)	宇和島市 (38203)
地域名 (地域内農業集落名)	宇和島大内地区 (大内)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年2月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<p>【現状】 本地域における農業は柑橘がメインであるが、小規模経営であり、かつ65歳以上の従事者が過半数である。農地の状況については、平地はわずかであり、ほとんどが急傾斜の山間地に点在している。</p> <p>【課題】 後継者不足が深刻な状況。農地については、遊林地の増加やスプリンクラー施設の老朽化、また老木園の増加が挙げられる。</p>

(2) 地域における農業の将来の在り方

<p>現行の農地について、スプリンクラーによる防除を中心としたブロック単位での集約を行うことが望ましいと考える。また、本地域の特性に合致するような品種をベースに、高単価の品種をマッチングした栽培技術の確立と安定的な経営を進めていく。</p>
--

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	20 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	20 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

<p>農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。保全・管理等が行われる区域については、具体的な取組が計画された場合に設定していく。</p>
--

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率のかつ総合的な利用を図るために必要な事項

<p>(1) 農用地の集積、集約化の方針 スプリンクラーによる防除ブロック内の路線を中心に集約していく。また、地域外に住む親族等の協力も、将来的に必要なようになってくると思われる。</p>
<p>(2) 農地中間管理機構の活用方針 農地面積が小規模なこともあり、具体的な活用方法の検討には至っていない。</p>
<p>(3) 基盤整備事業への取組方針 現状では、スプリンクラー施設が入っているため難しいが、将来的には取り組みたい意向はある。</p>
<p>(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針 引き続き、地域の柑橘組合を中心とした各種事業への取組を実施する。また、若手経営者を中心に法人化への取組が必要。</p>
<p>(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針 柑橘農家にとって、収穫が最も負担のかかる作業であることから、農業協同組合等と連携して、活用できる支援制度等について検討を行う。</p>

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

③柑橘農業は稲作や野菜に比べて、機械化の余地は少ないように思われるが、ドローンによる防除や、足場の悪い園地での重量物の運搬方法等を検討する。
⑤本地域の特性に合致するような品種をベースに、高単価の品種をマッチングした栽培技術の確立と安定的な経営を進める。